

平成 30 年度第 4 回高知県運輸業女性活躍推進実行委員会
議 事 要 旨

日 時：平成 31 年 2 月 20 日（水）10 時 00 分～11 時 40 分
場 所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」視聴覚室

1 開会

2 報告事項

- (1) 平成 30 年度事業及び決算見込みについて
- (2) その他

□事務局から、委員の交代について、資料 1 により説明

〔 委員就任：NPO 法人 キャリア・ライフ高知 副代表理事 山本 浩一
委員退任：NPO 法人 キャリア・ライフ高知 キャリアコンサルタント 吉田 亜矢子 〕

□事務局から、平成 30 年度実施事業及び決算見込みについて、資料 2～資料 5 により説明

〔各委員等からの意見〕

◆西村委員（一般社団法人 高知県トラック協会）

- ・（女性トラックドライバーの VTR を見た感想）思わず涙が出そうなほど、良い VTR に仕上がっていて嬉しかった。高知県では、女性のトラックドライバーは全体の 2% しかない。
- ・実際に女性ドライバーとして働いている方の生の声を届けて、就職先の候補先として考えてもらえるようになってほしい。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・アンケート結果のグラフは、できれば同じ回答項目は、パッと見た際に分かりやすいので、同じ色で統一すると良い。

◆森委員（高知労働局 職業安定部 訓練室）

- ・ドライバーに関するアンケートの、「就職先を探す際に使用するツールは何ですか」という質問への回答で、男女ともに「ハローワーク」が半数を超えているということについては、当局にとっては嬉しいことである。
- ・信頼されている喜びと同時に、それだけ責任のある仕事を行っているのだと身の引き締まる思いである。現場にもこの結果を伝える。

◆濱田会長（高知県 交通運輸政策課）

- ・アンケートでは、ドライバーのイメージにおいてポジティブな印象・ネガティブな印象どちらもあったが、今後、女性へ運輸業のPRをしていくにおいて、ネガティブな印象（不安に思っていること）を払拭していく方が良いのか、ポジティブな印象（男女で給与差が少ない等）を出していく方が良いか。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・アンケートの中で「就職先選択の際、重要視することは何ですか？」という設問でも、「給与」と答える人が多かったので、給与についてはアピールした方がいい。
- ・女性でも男性と同じ評価が受けられ、やればやっただけの成果が見える。同じ仕事でも給与に男女差があることに疑問を持つ女性は多いと思う。
- ・今のトラックは性能がいいし、トラックやバスは車両が大きいことが怖いだけなので、そういった性能などを知ってもらい、女性に「自分にもできるんだ」と思ってもらえるよう、上手にPRする。
- ・将来的にはAIの発達で女性の多い事務職が少なくなってくるので、今後の就職先としてはドライバーはとて面白いと思う。
- ・VTRの最後の、「高知は女性ドライバーを応援しています」という表示を、もう少しインパクトを加えて、力強くしてほしい。

◆小田副会長（公益社団法人 こうち男女共同参画社会づくり財団）

- ・やはり、アンケート結果が目についた。女性にとってドライバーという仕事は給与がいい、という点については、中島委員の言うとおりの魅力的だと思うし、訴求していくべき。
- ・ドライバーとして就職された女性が、実際にドライバーとして働いてみてどう思っているのか、もっと意見を聞いてみたい。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・アンケートの回答項目にあった「カッコいい」というプラスのイメージは女性に高い。PR 材料になる。

◆岩井委員代理 伊藤室長（高知家の女性しごと応援室）

- ・以前、ドライバーの仕事について、「個人の安全（事故を起こした際等の会社の対応や個人の立場がどうなるのか）はどうなっているのか？」と質問を受けたことがある。
- ・作成している PR チラシには、「安全」という言葉が全くない。アンケートでも「運転に不安がある」といった意見も多かったため、個人の安全と仕事の安全についても触れて欲しい。

3 協議事項

(1) 平成 31 年度事業計画（案）及び予算（案）について

事務局から、平成 31 年度実施事業（案）及び予算（案）について、資料 6～資料 9 により説明

事務局から、県が実施する平成 31 年度バス運転士確保対策事業について、参考資料により説明

[各委員等からの意見]

◆松山委員（一般社団法人 高知県バス協会）

- ・アンケートでもあった、「カッコいい」を前面に出してもらいたい。運転が難しいという意見が多いということであったが、（体格の）小さい方が大きな車に乗ることが「カッコいい」と感じるのでは。
- ・人間関係という面を重要視する方も多いようだが、ドライバーは会社を出れば、そこは「自分の世界」で仕事ができる、職人のような世界。人間関係も、職員同士で支え合いつつ、良い距離感も保ちながら仕事ができると思う。

◆西村委員（一般社団法人 高知県トラック協会）

- ・来年度もイベントや広報PRを実施するというので、業界としても大変ありがたい後押しである。
- ・高知県トラック協会でも、来年度は免許の取得助成の予算を増額するとともに、雇用対策としてPRのCMを作成していこうとしている。
- ・アンケートにおいて「給与」を重要視される方が多いことや、「安全」についての不安に応えられるようにするべきという意見を、協会のPRでもしっかり反映していきたい。

◆上戸委員（国土交通省 四国運輸局 高知運輸支局）

- ・今回のアンケートは貴重な資料。中でも、ドライバーという仕事が候補に挙げられない、と言う方が8割を超えている点に注目していかななくてはならない。
- ・なぜドライバーが就職先の候補として挙げられないのか、理由の分析を行いながら、魅力発信に活かしていくと良い。
- ・イベントの実施時期については、仕事を探すタイミングとずれると就労に繋がらないため、イベント実施時期が本当に8月・9月でよいのかも検討していくべきだ。

◆山本委員（NPO法人 キャリア・ライフ高知）

- ・ジョブカード作成には女性も多く来るが、運輸業に興味を持つ方は少ない。
事務系の仕事をしている40代の知人女性に聞くと、ドライバーは「事故が怖い」という。その女性は大型バイクにも乗る方だが、そのような方でも大きな車に乗るのは怖いと言っている。
女性にとって特に大型のドライバーを職業とするには、事故に対する不安な気持ちが大きいようだ。そのようなことが敬遠される大きな要因ではないか。
- ・トラックドライバーの動画を見て、一つ足りないと感じるのは、ドライバーをバックアップする組織や、ドライバーの仲間の支え合いという面。安全面、精神面でも仲間は大事。そういったところをPRするのも大切なのでは。
- ・また、ドライバーは腰痛になりやすいと聞く。そういった面の不安の解消として、ドライバーが実際に行っている対策などを聞いて宣伝してはどうか。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・先日、建設業の雇用促進の関係で工業高校に行ったが、ヒアリングによると、「建設業に就きたい」と考えて入学した生徒は少なかった。また、「知り合いや親戚がその仕事をし

ているから」という理由で工業系の学校を選択した生徒が多くいるようだった。

- ・最近では中学生の時から将来のことを考える。ドライバーという仕事を若い時期から身近に感じてもらい、親にも良いイメージを持ってもらうことができれば、ドライバーが就職先候補の一つに入るのでは。今回作成した VTR を、小学生等に見てもらうのも良い。
- ・まだ、親世代でトラックに関して、昔の映画等のイメージを持っている人もいます。こういったイメージは払拭しないとイケない。
- ・乗合バスについても便が減っていき、このままでは、ドライバーは無くなっていく仕事というイメージ（将来性が薄いのでは、というイメージ）につながりかねない。地域の生活になくてはならない仕事、必要不可欠な仕事だと訴えて行くべきだ。

◆西村委員（一般社団法人 高知県トラック協会）

- ・最近では、大手配送業者はアイドルを起用したり、イケメンを起用したりしていて、今は、運送業へのイメージも変わってきている。

◆中島委員（株式会社 なかじま企画事務所）

- ・人のイメージを変えるには時間がかかるが、運輸業＝必要不可欠な仕事、という意識を持ってもらえるような PR が必要。
- ・ドライバーは給与面では男女の差がない仕事である。ここを大きく PR するべき。そうすれば、やる気のある人が運輸業にやってくるのでは。特に、高知の女性はそういった方が多いのではと感じる。

◆濱田会長（高知県 交通運輸政策課）

- ・本事業で作成した「ドラ女子 Kochi」について、現在7社の事業者に求人情報を掲載いただいているが、さらに多くの事業者に掲載いただき、活性化させていきたいと考えている。事業者への周知について、業界団体には特に今後も協力をいただきたい。
- ・今年度は実行委員会が立ち上がり、イベントや広報を行い、改めて課題が大きなものであると実感した。今年度の反省を活かし、より良い事業を実施できるように努めていく。来年度も引き続き、委員・アドバイザーの皆さまには協力をお願いしたい。

< 来年度の実施内容について、委員の承認を得る >

4 閉会

以上

出席状況

(敬称略・順不同)

	所属・職・氏名	出席者
会 長	高知県中山間振興・交通部 交通運輸政策課長 濱 田 憲 司	○
副会長	こうち男女共同参画社会づくり財団 事務局長 小 田 優	○
委 員	一般社団法人高知県バス協会 専務理事 松 山 明 夫	○
委 員	一般社団法人高知県トラック協会 専務理事 西 村 伸 矢	○
委 員	高知県ハイヤー・タクシー協議会 専務理事 岡 村 泰 明	○
委 員	高知家の女性しごと応援室 チーフ 岩 井 契 子	(代理出席) 室長 伊藤 壽郎
委 員	国土交通省四国運輸局 高知運輸支局 首席運輸企画専門官 (総務企画観光部門) 上 戸 康 弘	○
委 員	国土交通省四国運輸局 高知運輸支局 首席運輸企画専門官 (輸送・監査部門) 廣 田 敦	欠席
委 員	厚生労働省高知労働局 職業安定部訓練室 室長補佐 森 郁 雄	○
委 員	株式会社 なかじま企画事務所 代表取締役 中 島 和 代	○
委 員	NPO法人 キャリア・ライフ高知 副代表 山 本 浩 一	○
アドバイザー	一般社団法人 女性バス運転手協会 代表理事 中 嶋 美 恵	欠席